

## 「大学の世界展開力強化事業」海外連携大学の追加について

採択年度	タイプ	大学名	設置	構想名	相手大学	連携大学追加	追加の理由	H24	H25	H26	H27	H28
								派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数	派遣数 受入数
H23	B-I	東京大学	国	巨大複雑システム統括エンジニア育成に向けた国際協働教育プログラムの創出	マサチューセッツ工科大学(米) カリフォルニア大学バークレー校(米) インペリアル・カレッジ・ロンドン(英) スイス連邦工科大学(スイス) スウェーデン王立工科大学(スウェーデン) エコール・サントラル・パリ(仏) エコール・デ・ミン・ド・ナント(仏) エコール・デ・ミン・ド・パリ(仏) エコール・ポリテクニク(仏) エコール・ナショナル・デ・ボン・ゼ・シヨセ(仏)	ケンブリッジ大学(英)	世界でもトップクラスの大学であり、連携大学間の協力関係及び産業界との連携を一層強化することが期待できるため。また、社会基盤学分野を始めとして長年の研究教育の交流実績を有し、十分な連携体制が確立されているため。	0	0	0	2	—
								0	0	0	1	—
H23	B-II	千葉大学	国	大陸間デザイン教育プログラム(CODE Program)	パーソンズ美術大学(米) College for Creative Studies(米) カリフォルニア州立大学(米) グラスゴー芸術大学(英) アールト大学(フィンランド) ENSCI Les Ateliers(仏) ミラノ工科大学(伊) IADE(ポルトガル) ラップランド大学(フィンランド) ナント大西洋デザイン大学(仏) シンシナティ大学(米) 工業デザイン大学ローマ校(伊) ケルン応用科学大学(独)	ストレート大学(仏)	フランスにおけるトランスポートデザインの最有力校であり、日本のトランスポートデザインを牽引してきた千葉大学との交流によって大きな相乗効果が期待できるため。	0	0	0	1	—
								0	0	2	2	—
H24	I	東京大学	国	アジア都市環境保健学際コンソーシアムの形成	アジア工科大学院(タイ) チュラロンコン大学(タイ) タマサート大学(タイ) マヒドン大学(タイ) インドネシア大学(インドネシア) パジャジャラン大学(インドネシア)	バンドン工科大学(インドネシア)	インドネシアの工学系の大学の中で最も有力な大学であり、従来は医学系にやや偏っていた同国内のプログラムにおいて、工学系の要素が強まり、一層の医工連携が推進されることが期待できるため。	0	0	0	2	2
								0	0	0	2	2
H25	AIMS	上智大学	私	多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム	ボゴール農科大学(インドネシア) ガジャマダ大学(インドネシア) チュラロンコン大学(タイ) マヒドン大学(タイ) アテネオデマニラ大学(フィリピン) デ・ラ・サール大学(フィリピン)	マレーシア国民大学(マレーシア)	アジア地域におけるイスラム圏の言語文化を学ぶことができる他、国際ビジネスの分野でも多様な科目を有し、ASEAN地域及びアジア全域の視点から国際経済を学ぶ機会が見込まれ、日本とASEAN地域の相互理解の促進に寄与するところが大きい。	—	0	0	2	2
								—	0	0	2	2